



ファイル共有（交換）ソフトの禁止について

総合情報戦略機構

●ファイル共有ソフトとは？

インターネットに接続した不特定多数のパソコン同士でファイルのやりとりを行うソフトウェア

です。代表的なものに、「Winny」、「Share」、「WinMX」、「Limewire」、「Cabos」、「迅雷」などがあります。以前は、ファイル「交換」ソフトと呼ばれていましたが、最近はその機能からファイル「共有」ソフトと呼ばれることが多くなっています。



公開したいフォルダを自分で設定すると、そのフォルダ内のファイルが共有（交換）されることになります。



●何が問題なの？

Winnyなどのファイル共有ソフトで送受信されている著作物のほとんどが、著作権者の了解なくアップロードされています。



他人の著作物を著作権者の了解なくアップロード（共有）することは著作権法に違反する行為です。また、平成22年1月の著作権法の改正で、個人的に楽しむ目的であっても、著作権を侵害した配信だと知りながら著作権者に無断でダウンロードすることは違法であるとされました。一部のファイル共有ソフトには、ダウンロードしたファイルを、そのままアップロードしてしまう機能があります。さらに、これらのソフトにはファイルの断片を勝手に中継（送受信）させられる機能があるために、そのネットワークに参加するだけでも、著作権侵害行為に「加担」させられてしまうこともあるのです。

●著作権を侵害するとどうなるの？

著作者から損害賠償などを請求される可能性があります。また、刑事罰の対象ですので、その捜査の過程で、家宅捜索、証拠品の押収などが行われ、逮捕されることもあります。著作権法に違反する行為の罰則は、10年以下の懲役または1,000万円以下の罰金、またはその両方と非常に重いものです。



●「ユーザーは特定できない」【バレない】って本当？

匿名性が高いとされているファイル共有ソフトですが、そのネットワーク上には、利用しているユーザー自身の情報も流通しています。

現在、ユーザーが保持するファイル名や、IPアドレス、接続時刻などが簡単に検索・保存できる技術が開発されており、著作権等を監視する団体（組織）などは積極的にこれを使用してチェックしています。また、学内で使用した場合にはネットワークの通信記録などからユーザーを特定することができます。

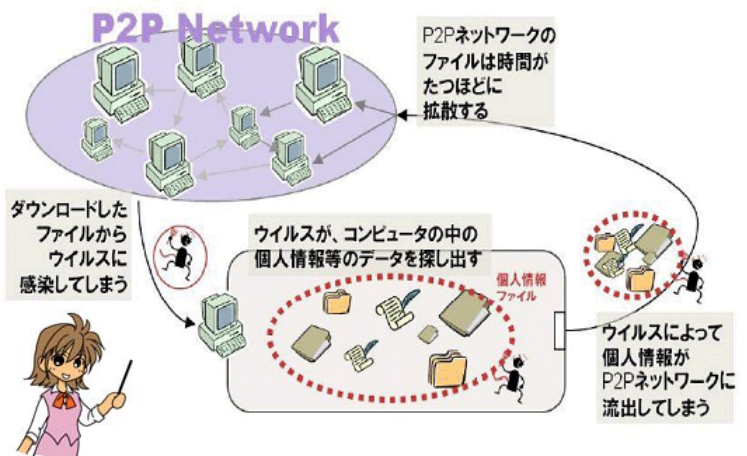


●ファイル共有ソフトの危険性って？

ファイル共有ソフトのネットワークでは、コンピューターウイルスをはじめとする危険なファイルが数多く流通しています。危険なファイルは人気のある著作物であるかのように巧妙に装っています。このファイルをダウンロードし、実行すると、あなたのパソコン内の個人情報などがネットワーク上に流出したり、消去されたりする危険性があります。



これらによる情報漏えい、個人情報の流出事件が多数発生しており、一度流出してしまった情報は、回収・消去することは絶対に不可能です。



●著作権侵害や情報漏えいを防ぐために●

★ファイル共有ソフトの仕組みを理解してください。

★興味本位の利用は危険です。

★間違った操作で情報漏えいする場合もあるので、重要な情報のあるパソコンではファイル共有ソフトは利用しないでください。

ファイル共有ソフトの持込及び使用は禁止です！